
令和6年度予算第一特別委員会質問要旨

○ 局別審査

令和6年3月5日

質問者（質問順）

- 1 山田 桂一郎 委員（維新会）
- 2 大和田 あきお 委員（共産党）
- 3 おさかべ さやか 委員（自民党）
- 4 山田 一誠 委員（自民党）
- 5 仁田 昌寿 委員（公明党）
- 6 越久田 記子 委員（立憲党）
- 7 深作 祐衣 委員（民主フ）

医 療 局
医療局病院経営本部

局 別 審 査

1 山 田 桂一郎 委員（維新会）

1 看護師等の確保策について

- (1) 本市における看護職員の離職率と離職率抑制の対策について伺いたい。
- (2) 本市における潜在看護師の復職支援策と実績について伺いたい。
- (3) 看護補助者の確保支援策について伺いたい。

2 すい臓がん対策について

- (1) 尾道市と本市における早期診断プロジェクトの違いについて伺いたい。
- (2) 地域医療機関との連携の状況について伺いたい。
- (3) 今後の対策の方向性について伺いたい。

3 災害時の医療提供体制について

- (1) 東日本大震災、阪神・淡路大震災クラスの大地震が発生した際の本市における災害拠点病院を頂点とした診療体制への備えについて伺いたい。
- (2) DMATやJMAT等の医療チーム受入れ体制の現状と課題について伺いたい。
- (3) 横浜薬科大学との協定に基づく災害時における医療品に関する対応体制について伺いたい。
- (4) 地域防災拠点での災害に備えた医療関係の通信インフラの整備状況について伺いたい。
- (5) 災害時オンライン診療への見解について伺いたい。

4 医師の働き方改革について

- (1) 医師の働き方改革によって生じる現場への混乱にどう対応するのかについて伺いたい。
- (2) 医師の働き方改革への見解について伺いたい。

(意見) 医師の働き方改革は早急に見直しをすべき。

1 災害時の医療体制の整備と災害に強い医療体制の構築について

- (1) 医療救護隊の役割について伺いたい。
- (2) 区ごとの医療救護隊の編成予定数について伺いたい。
- (3) 災害時の医療救護活動における費用負担について伺いたい。
- (4) 医療救護隊の医療従事者は、医療救護活動を行う上で、各区の訓練と研修を充実させることが必要と考えるが、見解について伺いたい。
- (5) 医療救護隊の研修や訓練は、今後、医師・看護師・薬剤師を確保・拡充するために、費用を公費負担とするとともに手当を支給することが必要と考えるが、見解について伺いたい。
- (要望) 医療救護隊として従事する民間の医師、看護師、薬剤師に対し、研修や訓練参加に要する人件費や交通費などを支給していただきたい。
- (6) 医療救護隊のみならず、医師不足、看護師不足が問題となっているが、医師、看護師の働き方改革を含めた人材育成について、本市としてどのような対策が必要か見解について伺いたい。
- (7) 医師と看護師の人材育成は、大学医学部の学生の定員数を拡大することや看護師の待遇改善を進めること、看護学校への支援を強化することが重要と考えるが、見解について伺いたい。
- (要望) 看護学校への補助金など今後も支援の強化をしていただきたい。
- (要望) 今後、医師・看護師の働き方改革を契機に、国民が安心して医療にかかれる医療体制の確立を進めていただきたい。

3 おさかべ さやか 委員（自民党）

1 令和6年度病院事業会計予算について

- (1) 医療局病院経営本部における令和6年度予算編成の考え方について伺いたい。
- (2) 市民病院の来年度の病院運営方針と具体的な取組について伺いたい。
- (3) 脳卒中・神経脊椎センターの来年度の病院運営方針と具体的な取組について伺いたい。

2 医師の働き方改革について

- (1) 医師の働き方改革に向けた市民病院の取組について伺いたい。
- (2) 医師の働き方改革を推進していくために市立病院が果たす役割について伺いたい。
- (3) 今後、より一層の働き方改革をどのように進めていくか伺いたい。
- (要望) 働き方改革をけん引する市立3病院に対して、2040年問題に向けて、海外視察、マネジメント専門の外部のコンサルタントを入れるなど、ドラスティブな支援をしていただきたい。

3 医療的ケアを行う看護師の人材育成について

- (1) 医療的ケアを行う看護師の人材育成の取組について伺いたい。
- (要望) 研修も勤務時間に含めていただけるよう施設に働きかけていただきたい。
- (2) 看護師の交流会を実施する効果について伺いたい。
- (要望) オンラインの参加も可能となるよう柔軟な対応をしていただきたい。
- (3) 医療的ケアを行う看護師の人材育成の今後の方向性について伺いたい。
- (4) 医療的ケアを担う看護師の確保の課題について伺いたい。
- (要望) 看護師の市内就業状況や医療的ケア児のニーズを把握していただきたい。

4 看護人材の確保について

- (1) 看護師の育成、確保を取り巻く状況について伺いたい。
- (2) 市内養成施設卒業生の市内就職率向上に向けた取組について伺いたい。

(3) 潜在看護師の復職支援に向けた取組について伺いたい。

(4) 看護人材確保の方向性について伺いたい

(要望) 医療機関以外でも看護師が必要になることも含め、看護師の必要性を子どもに啓発していただきたい。

5 初期救急医療体制について

(1) 本市の初期救急の患者動向の特徴について伺いたい。

(2) 初期救急医療体制の課題と対応について伺いたい。

(3) 耳鼻咽喉科の救急医療体制について伺いたい。

1 新型コロナウイルス感染症対応の方向性について

- (1) これまでの感染状況の推移について伺いたい。
 - (2) 新型コロナワクチンの接種実績と今後の方向性について伺いたい。
 - (3) これまでの新型コロナ対応の取組実績について伺いたい。
 - (4) Y-CERTの活動に関する評価と今後の入院調整支援について伺いたい。
 - (5) これまでの新型コロナ対応の所感について伺いたい。
- (要望) 経験を次に活かし、今後も新型コロナ対応にはしっかり取り組んでいただきたい。

2 脳卒中・神経脊椎センターの病院経営について

- (1) 脳血管疾患に対する取組について伺いたい。
 - (2) 運動器疾患に対する取組について伺いたい。
 - (3) 令和6年度の新たな取組について伺いたい。
 - (4) 学校健診で脊柱側弯症が見つかり、脳卒中・神経脊椎センターの受診につながることはあるのか伺いたい。
- (要望) 不登校の児童の脊柱側弯症等、思春期特有の症状が見落とされることのないようにしていただきたい。

3 小児がん対策について

- (1) 今回、小児がん対策として複数新規事業を展開した背景と意図について伺いたい。
 - (2) 新規事業で期待できる効果について伺いたい。
 - (3) 数は少なくとも病気の子ども達を置き去りにしない決意が大事と考えるが、見解について伺いたい。
- (要望) 医療の分野でも、子どもに対する施策にしっかり取り組んでいただきたい。

4 障害児・者の歯科保健医療について

- (1) 実態調査を行う背景について伺いたい。
- (2) 調査の結果に対する具体的な対応について伺いたい。
- (3) 障害児・者の歯科保健医療の充実に向けた意気込みを伺いたい。
- (要望) 障害児・者の歯科保健医療にしっかりと取り組んでいただきたい。

5 産科医療対策について

- (1) 産科医療体制の現状について伺いたい。
- (2) 産科医療対策の取組とその狙いについて伺いたい。
- (3) 産前・産後の切れ目ない産科医療体制の構築に取り組んでいくべきと考えるが、見解について伺いたい。
- (要望) 産科医療にしっかりと取り組んでいただきたい。

6 災害時医療体制の整備について

- (1) 能登半島地震における医療局の支援状況について伺いたい。
- (2) 能登半島地震を踏まえた災害医療の現状認識について伺いたい。
- (3) 妊産婦・乳幼児の災害医療の現状と今後の対策について伺いたい。
- (要望) 局の垣根を超えた妊産婦・乳幼児の災害時対策に取り組んでいただきたい。

1 横浜市の医療政策について

- (1) 本市医療政策のこれまでの取組について伺いたい。
- (2) 2040年に向けた本市における医療政策上の課題について伺いたい。
- (3) 課題に対する医療政策上の取組について伺いたい。
- (4) 基礎自治体として医療局を設置していることの意義と医療局への期待について伺いたい。

2 未来につながるがん対策について

(1) 小児がん対策について

ア 長期フォローアップの内容をどのように充実していくのかについて伺いたい。

イ 小児がん治療後の方に向けた健診の検討を進めるべきと考えるが、見解について伺いたい。

(要望) 小児がん治療後の人を対象とした健診の実施を積極的に検討していただきたい。

(2) 新たな放射線治療について検討を進めるべきと考えるが、見解について伺いたい。

(要望) 次世代の放射線治療の実施に向けた検討を進めていただきたい。

(3) 緩和ケアについて

ア 市内における緩和ケアの状況について伺いたい。

イ 緩和ケアに関する調査の目的とその実施方法について伺いたい。

ウ 本市の緩和ケアの充実に向けた方向性について伺いたい。

(意見) 緩和ケアの正しい理解についての啓発を進めていただきたい。

3 災害時医療体制の整備について

(1) 大規模災害時における透析医療体制の現状と課題について伺いたい。

(2) 災害時透析医療体制の充実に向けた今後の対応について伺いたい。

4 遠隔 I C U の体制整備支援について

- (1) 遠隔 I C U の効果について伺いたい。
- (2) 今後の事業展開について伺いたい。
- (3) 遠隔 I C U の持続的な運営について伺いたい。
- (要望) 遠隔 I C U の横浜モデルを発信していただきたい。

5 衛生研究所の取組について

- (1) 衛生研究所の役割、意義について伺いたい。
- (2) 調査研究テーマの設定方法について伺いたい。
- (3) 令和 6 年度における調査研究の拡充内容について伺いたい。
- (4) 調査研究をさらに拡充していくべきと考えるが、見解について伺いたい。
- (5) メディカルダッシュボードの取組について伺いたい。
- (6) 衛生研究所の調査研究の成果について、市民にわかりやすく情報を発信していくことが必要と考えるが、見解について伺いたい。
- (要望) 存在感のある衛生研究所を構築していただきたい。

6 帯状疱疹ワクチンについて

- (1) 帯状疱疹ワクチン定期接種化に向けた国の検討状況について伺いたい。
- (2) 令和 6 年度の調査では、具体的にどのような調査結果を示すつもりか伺いたい。
- (3) この調査の意義及び今後どのように発展させていくのかについて伺いたい。
- (4) 神奈川県のアナケート調査に対してどのように回答したかについて伺いたい。
- (要望) 定期接種化に向け、本市調査結果を活用し、国への要望を引き続き粘り強く行うとともに、市独自の公費助成も検討していただきたい。

1 多頭飼育問題について

- (1) 多頭飼育問題の定義と本市で現在対応中の案件の数について伺いたい。
 - (2) 多頭飼育問題の実際の現場対応について伺いたい。
 - (3) 多頭飼育問題における課題について伺いたい。
 - (4) 社会福祉関連部署との連携を強化していくべきと考えるが、見解について伺いたい。
- (要望) ふるさと納税にペットの災害対策及び収容動物の環境の充実や譲渡の推進の取組に関する項目があることを市外の人に知っていただき、有効活用していただきたい。
- (要望) 多頭飼育問題の早期解決に向けて市内の連携を一層強化して取り組むとともに、関係各所と連携した動物愛護施策を一層進めていただきたい。
- (要望) 動物の防災施策を全体の防災施策に包括して取り組むことができるような仕組みづくりをするとともに、関係団体と協議し実効性のある対策を検討していただきたい。

2 水際の感染症対策について

- (1) 本市における輸入感染症の動向について伺いたい。
 - (2) 海外渡航者が増える中、輸入感染症対策に取り組むべきと考えるが、見解について伺いたい。
- (要望) 関係局や関係機関との連携、市民目線での戦略的な広報活動により情報が必要な方にしっかり届く方法の検討に取り組み、水際の感染症対策に切れ目なく取り組んでいただきたい。

3 救急医療DXについて

- (1) 救急患者の受入れに関するこれまでの取組状況と課題について伺いたい。
- (2) 救急医療DXの概要と導入により見込まれる効果について伺いたい。
- (3) 救急医療DXの導入にあたっては、現場に混乱が生じないように丁寧に進めて

いく必要があると考えるが、見解について伺いたい。

(要望) 現場の声を活かし検証を重ね、救急医療DXを進めていただきたい。

4 人生会議について

(1) 人生会議を行うことで期待される効果について伺いたい。

(2) 人生会議を推進するための今後の取組について伺いたい。

(要望) 飼い主が亡くなった後のペットの譲渡先という課題についての対応を検討していただきたい。

5 医療人材の活躍支援と確保について

(1) 助産師の活躍支援について伺いたい。

(2) 医療従事者の確保に向け、若年層に医療の仕事の魅力を伝えていくべきと考えるが、見解について伺いたい。

(3) 若年層が実際に医療を体験することができる機会を提供すべきと考えるが、見解について伺いたい。

1 乳がん検診の質と受診率の向上について

- (1) 国の指針で推奨されていない視触診を実施している理由について伺いたい。
- (2) マンモグラフィのみの検査・視触診とマンモグラフィの検査の検診単価が同じであることの理由と、視触診とマンモグラフィの自己負担額の考え方について伺いたい。
- (3) 本市のがん検診において、有用性が不明で推奨しないとされている視触診は廃止するべきと考えるが、見解について伺いたい。
- (意見) 視触診の実施については市としての方針を持つべき。
- (4) マンモグラフィのみを受ける市民が増えたとしても、その分を市が補填するのではなく、マンモグラフィのみの場合の検診単価を見直すべきと考えるが、見解について伺いたい。
- (5) 受診率の向上策として、かかりつけ医等からの検診誘導に対しインセンティブを設けるべきと考えるが、見解について伺いたい。
- (要望) 乳がん検診を効率的に見直し、がん検診の受診率を向上させていただきたい。

2 遺伝性乳がん卵巣がん症候群HBOCについて

- (1) がん未発症の方がHBOC検査を受けられる施設は市内にいくつあるのか伺いたい。
- (2) 陽性となった方に対する心理的・経済的負担へのフォロー体制についても十分検討するべきと考えるが、見解について伺いたい。
- (3) 受入れ先の医療機関を本市の指定施設として承認し、受入れ症例数の実績に応じて補助金等を支給し、フォローアップ体制を確実に整備すべきと考えるが、見解について伺いたい。
- (要望) 引き続き、医療現場で働く医師の声を聞き、HBOC検査事業を打ち出すことで発生するメリット・デメリットを十分に議論していただきたい。